

経済データで見る「最近の世界経済動向(2014年11月~2015年2月)」 *青字は悪化指数、%は前年比 2015.2.19.現在 日本機械輸出組合

	2014年12月	2015年1月	2015年2月	最近の経済動向
世界	<p>トハイ原油 2日 70.10^{ドル}、17日 55.90^{ドル}、24日 57.6^{ドル} -11月:半導体販売 9.1%増</p>	<p>-GDP:15年:IMF世界3.5、米3.6、EU1.2、日0.6中6.8 トハイ原油 5日 53.3^{ドル}、20日 42.7^{ドル}、30日 44.7^{ドル} -12月:半導体販売 9.3%増 -10-12月:パソコン出荷 2.4%減</p>	<p>トハイ原油 2日 48.3^{ドル}、16日 59.0^{ドル}</p>	<p>・欧州経済の回復力弱い。米経済は消費・生産・投資堅調。中国経済は減速も7%台成長維持。インド 7%台、ベトナム、フィリピン6%台、マレーシア、インドネシア5%台、シンガ、タイ2%台成長。ロシア、ブラジル経済低迷。</p>
日本	<p>-財政・金融:28日:経済対策閣議決定 3.5兆円 -長期金利:24日 0.31 -株価:8日 17,935、16日 16,755、30日 17,450 -雇用:11月:失業率 3.5%横這 -所得:22日冬ボーナス 5.5%増、11月:現金給与総額 1.5%減、実質 4.3%減、勤労者世帯収入 1.1%減、実質 3.9%減 -消費:11月:消費支出 1.7%増、実質 1.2%減、8か月一、小売販売額 0.4%増、5ヶ月連続プラス、車販売 9%減、住宅着工 14.3%減 -受注:11月:機械 6.1%減、工作機械 36.6%増(海外 49.6%増)、産業機械 3.4%減 -生産:11月:鉱工業 3.7%減、前月比 0.6%減、自動車 12.2%減 5か月一、 -貿易:8日 1\$:121円台、11月:輸出 4.9%増、輸入 1.7%減 -投資:11月:機械受注民需前月比 1.3%増</p>	<p>-GDP: 10-12月:前期比年率 2.2%、3四半期ぶり+、前期比 0.6、消費 0.3、投資 0.1、輸出 2.7、公共支出 0.6 -財政・金融:10日:政府補正予算決定 3.1兆円、14日新年度一般会計予算 96.3兆円過去最大 -金利:5日 0.32、19日 0.2、22日 0.31 -株価:14日 16,795、28日 17,795、30日 17,674 -雇用:ソニー 1千人追加削減、12月:失業率 3.4%0.1^{ポイント}改善 -所得:12月:勤労者世帯収入 0.8%減、名目 2.1%増、2014年:現金給与総額 2.5%減、名目 0.8%増、 -消費:12月:消費支出 3.4%減、小売業販売名目 0.2%増、車販売 2.1%増 6カ月ぶり+、 -受注:12月:工作機械 33.9%増、産業機械 21.8%増、14年:車販売 2.1%増、工作機械 33.8%増、 -生産:12月:鉱工業前月比 0.8%増、四輪車 2.5%減、建設機械出荷 9.6%増 -貿易:16日 1\$:116円台、12月:輸出 12.8%増、輸入 1.9%増 -収益:4-12月:営業益:東芝 6.2%増、三菱電機 41%増、純益:コナミ 1%増、ファナック 9.4%、キヤノン 11%増、リコー 21%増、コカ・コーラ 2倍、日本精工 2.7倍、オムロン 45%増、セイコーエプソン 2.1倍、京セラ 7%増、最終益:NEC227億円 -投資:12月:機械受注民需前月比 8.3%増</p>	<p>-金利:2日 0.285、16日 0.45 -株価: 3日 17,335、16日 18,004、17日 17,987 -所得:14年:現金給与総額名目 0.8%増 -消費:1月:新車販売 19.1%減、14年:車販売 3.5%増、住着工 14.7%減 -受注:1月:工作機 20.4%増、 -収益:4-12月:経常益:上場企業7%増、純益:日立 37%増、パナソニック 10%増、トヨタ 14%増 2.1兆円、日産 39%増、ホンダ 8%減、三菱自 12%増、マツダ 70%増、三菱重 48%増、川重 93%増、クボタ 6%増、ダイキン25%増、キーエンス38%増、オリンパス 5.5倍、12月期:純益:キヤノン 7.8%増 3,634億円 -投資:ソニー・イメージセンサーに 1,050億円</p>	<p>(前々月)・GDP7-9月は1.9%減と二期連続マイナス。失業率 3.5%横這。所得は名実ともマイナス、車販売はプラスへ、住宅は大幅な落ち込み。消費は8カ月連続実質マイナス。輸出は3カ月連続プラス。機械受注 2カ月マイナス、設備投資はプラスへ、生産は縮小傾向。景気は消費のマイナスが続き、投資はプラスへ、生産は縮小で弱含み。経常益 4-9月期は10%増で自動車、機械好調、電機回復。株価は原油安、ロシア通貨危機で一時下落も 17千円台維持。景気回復持続、財政赤字の縮小が課題。大幅貿易収支赤字が懸念材料 (前・当月)・GDP10-12月は2.2%増と三期ぶりのプラス、失業率 3.4%やや改善。所得は名目プラスも実質マイナス、前年の反動で車販売、住宅着工は大幅な落ち込み。消費は9カ月連続実質マイナス。輸出は4カ月連続プラス。景気は消費のマイナスが続き、投資、生産はやや上向きの動き、輸出増が回復支える。経常益 4-12月期は7%増で自動車、機械好調、電機回復。株価は一時 18000円台回復。景気回復持続、財政赤字の縮小が課題。大幅貿易収支赤字が懸念材料</p>
アジア・大洋州	<p>-株価:上海 1日 2,680、31日 3,234 -中国:12日工作会議、高速成長→7%前後中高速へ、21日貸出金利 0.4%下げ年 5.6%へ、11月:小売総額 11.7%増、輸出 4.7%増、輸入 6.7%減、新車販売 2.3%増、工業生産 7.2%増、乗用車生産 4.5%減、製造業景況感 50.3 0.5^{ポイント}低下、1-11月:固定資産投資 15.8%増、不動産販売 7.8%減、 -韓国:11日:政策金利2%に据置、11月:輸出 2.1%減、輸入 4.0%減、 -台湾:11月:鉱工業生産 6.8%増、輸出 3.7%増、 -フィリピン:11月:車販売 34.6%増 -インドネシア: 11月:消費者物価 6.2%高 1.4^{ポイント}上昇、車販売 18.4%減、 -ベトナム:11月:車販売 57.2%増 -タイ:10月:車生産 14%減、11月:車販売 21.8%減 -マレーシア:11月:車販売 5.9%増 -シンガポール:11月:車販売 79.7%増 -インド:11月:車販売 6.1%増</p>	<p>-株価:上海 7日 3,373、19日 3,116、26日 3,383、31日 3,210 -中国:23日公開オペ資金供給、10-12月:GDP7.3%、12月:輸出 9.7%増、輸入 2.4%減、新車販売 12.9%増、製造業景況感 50.1、0.2^{ポイント}下、純益:レノボ 5%減、14年:GDP7.7%、投資 15.7%、小売 12%増 -韓国:12月:輸出 7.1%増、10-12月:GDP 0.4%、営業益:サムスン 37%減、最終益:現代自 15%減、2014年:GDP:3.3% -台湾:12月:鉱工業生産 7.3%増、輸出 2.8%減、海外受 4.5%増、10-12月:GDP 3.2%増、純益:HTC 49%増、メディアテック 21%増、AOU 6.4倍、ASUS 3%増、2014年:GDP 3.7% -フィリピン:12月:車販売 24.1%増、10-12月:GDP 6.9% -インドネシア:12月:消費者物価 8.4%高、車販売 19.3%減、10-12月:GDP 5.0%、2014年:GDP 5% 低水準 -ベトナム:12月:車販売 53.0%増、10-12月:GDP 6.96% -タイ:12月:車販売 21.4%減、10-12月:GDP 2.3% -マレーシア:10-12月:GDP 5.8%、車販売 6.9%増 -シンガポール:12月:車販売 47.8%増、10-12月:GDP 2.1%、14年:2.9% -インド:15日:政策金利 0.25%引下げ 7.75%へ、12月:車販売 11.7%増、10-12月:GDP 7.5%新基準</p>	<p>-株価:上海 2日 3,204、6日 3,075、16日 3,222、 -中国:4日:中国人民銀行預金準備率 0.5%引下、1月:輸出 3.3%減、輸入 19.9%減、新車販売 7.6%増、製造業景況感 49.8、0.3^{ポイント}下、 -韓国:1月:輸出 0.4%減、輸入 11%減、14年:営業益:LG電子 46%増 -台湾:1月:輸出 3.4%増、2014年:ASUS 9%減 -フィリピン:1月:車販売 19.3%増、14年:GDP 6.1%増 -ベトナム:1月:車販売 80.5%増 -シンガポール:1月:車販売 69.2%増 -インド:1月:新車販売 4%増</p>	<p>(前々月)・中国は10-12月GDP7.3%と横這、設備投資高水準も不動産投資落ち、車販売二桁増へ、消費は二桁維持。輸出回復、工業生産 7%台減速、企業業績は車・IT好調。株価大幅回復。韓国、輸出再びプラスへ、企業業績悪化で経済対策。台湾、輸出鈍化・生産好調、企業業績好調。その他の直近のGDP、ベトナム 6%台、マレーシア、フィリピン、インドネシア 5%台成長。シンガ 2%台、タイ 1%台成長。インドは物価高騰も車販売回復傾向、消費、投資増で 5%台成長 (前・今月)・中国は 10-12月GDP7.3%と横這、設備投資高水準も不動産投資落ち、車販売 2カ月堅調、消費は二桁維持。輸出プラスへ、工業生産 7%台減速、企業業績は車・IT減速、製造業景況感悪化、政府金融緩和へ。株価大幅回復。韓国、輸出再びプラスへ、企業業績悪化で経済対策。台湾、輸出上下・生産好調で3%台成長、企業業績好調。その他の直近のGDP、ベトナム、フィリピン6%台、マレーシア、インドネシア 5%台成長。シンガ、タイ 2%台成長。インドは物価高騰も車販売回復、消費、投資増で 7%台(新基準)成長</p>

北米	<p>-財政・金融:FRB 利上げ来年4月以降 -景気:17日 FRB、消費緩やかに回復、投資改善傾向、11月:製造業景況感58.7、0.3ポイント上昇 -株価:5日 17,958、16日 17,068、26日 18,053 -雇用:11月:失業率5.8%前月比横這、32万人増 -所得:11月:個人所得前月比0.4%増 -消費:11月:個人消費 前月比0.6%増 10か月十、小売売上5%増、前月比0.7%増、新車販売4.6%増、新築販売前月比1.6%減、住宅着工同1.6%減 -受注:11月:耐久財受注前月比0.7%減 -生産:11月:鉱工業前月比1.3%増、 -貿易:11月:輸出0.04%増、輸入2.3%増、 -収益:9-11月:最終損:ブラックベリー 177億円 -投資:11月:設備稼働率80.0%</p>	<p>-GDP: 10-12月:前期比年率2.6%増、消費4.3%、投資1.9%、住宅4.1%、輸出2.8% -景気:15日 FRB、経済は堅調なペースで拡大 -株価:8日 17,907、30日 17,164 -雇用:12月:失業率5.6%、0.2ポイント改善25.2万人増 -所得:12月:個人所得前月比0.3%増 -消費:12月:個人消費 前月比0.3%減、小売売上前月比0.9%減、新車販売10.8%増、新築販売8.8%増、前月比11.6%増、住宅着工5.3%増、前月4.4%増、中古販売3.5%増 -生産:12月:鉱工業4.9%増、前月比0.1%減、 -貿易:12月:輸出0.05%増、輸入5.0%増、 -収益:10-12月:純益:主要500社5%増、インテル39%増36.6億ドル、IBM11%減6400億円、GE61%増51億ドル、アップル3.8%増180億ドル、マイクロソフト11%減、グーグル41%増48億ドル、キャタピラー25%減、14年:純益:GM56%減、フォード56%減 -投資:12月:稼働率79.7%</p>	<p>-景気:3日製造業景況感53.5、1.6ポイント低下 -株価:1日 17,361、17日 18,047、 雇用:1月:失業率5.7%、0.1ポイント悪化、25.7万人 -消費:1月:小売売上3.3%増、前月比0.8%減、新車販売13.7%増、 -収益:14年:ボーイング19%増6400億円</p>	<p>(前々月)・GDPは7-9月前期比5.0%増。失業率5.6%で改善。所得改善等で住宅投資堅調、車販売も二桁増回復、個人消費は堅調。輸出は鈍化、生産・投資堅調。景気は消費、輸出、生産、投資とも堅調。企業収益10-12月4%増と拡大維持、システム・電子部品等好調、他方、一部車、IT関連減速。株価は石油・ロシア等でやや低下も17日後半維持。成長持続、雇用拡大が課題。金融緩和引締りが懸念材料。 (前・今月)・GDPは10-12月前期比年率2.6%増、8四半期十。失業率5.7%でやや悪化。所得改善等で住宅投資堅調、車販売も二桁増回復、個人消費は堅調。輸出は横這い、生産・投資堅調。景気は消費、生産、投資とも堅調。企業収益10-12月5%増と拡大維持、システム・電子部品等好調、他方、IT関連減速、車悪化。株価は石油価格下落・対口制裁も一時18000台回復。成長持続、雇用拡大が課題。金融緩和引締りが懸念材料。</p>
欧州	<p>-財政・金融:5日 ECB 過去最低政策金利0.05%据置、12日域内銀行19兆円低利融資 -株価:5日 6,742、15日 6,182、29日 6,653 -雇用:11月:失業率ユーロ11.5%横這、独4.9%横這、仏10.3%、伊13.3%、スペイン23.8%、蘭6.5%横這、ポーランド8.2% -消費:11月:小売売上高:ユーロ1.6%増、独2.1%増、仏1.1%増、英6.7%増、伊1.5%増、スペイン1.9%増、蘭2.8%増、ポーランド1.9%増、新車登録:欧州1.1%増、独1.8%減、仏2.7%減、英8.0%増、伊5.0%増、スペイン17.4%増、蘭19.5%減、ポーランド1.0%増、 -生産:11月:鉱工業:ユーロ0.8%減、独0.4%減、仏3.3%減、英1.2%増、伊1.9%減、スペイン0.3%減、蘭3.7%減、ポーランド0.3%増 -貿易:11月:ユーロ輸出1%増、輸入2%減</p>	<p>-GDP: 10-12月:前期比:ユーロ0.3%増、独0.7%、仏0.1%、英0.5%、伊0.0%、スペイン0.7%、蘭0.5%、ポーランド0.6% -財政・金融:17日ギリシャ大手2行支援要請、スイス為替介入22日ECB量的金融緩和導入①3月~毎月8兆円買取、ギリシャ国債、資産担保債権、 -政治:27日ギリシャ緊縮反対政権誕生、ウクライナ親口派攻勢 -景気:6日ユーロ安、ギリシャ政局不安 -株価:6日 6,366、26日 6,852、30日 6,749 -雇用:12月:失業率ユーロ11.4%、独4.8%、仏10.3%横這、伊12.9%、スペイン23.7%、蘭6.7%、ポーランド8.0% -消費:12月:小売売上高:ユーロ2.8%増、独4.0%増、仏1.5%増、英4.9%増、スペイン6.6%増、ポーランド2.0%増、新車登録:欧州5%増、独6.7%増、仏6.8%減、英8.7%増、伊2.4%増、スペイン21.4%増、蘭6.4%減、ポーランド10.3%増、 -生産:12月:鉱工業:ユーロ0.2%減、独0.0%、仏0.6%増、英0.0%、伊0.1%増、スペイン0.8%減、蘭2.2%減、ポーランド5.7%増 -貿易:12月:ユーロ輸出8%増、輸入1%増 -収益:10-12月:営業益:シーメンス4%減18億€</p>	<p>-政治:15日ウクライナ停戦発効17日EU、対口追加制裁発動 -株価:1日 6,898、13日 6,873、17日 6857 -雇用:シーメンス16年末までに7,800人削減 -消費:1月:新車登録:欧州6.9%増、独2.6%増、仏6.2%増、英6.7%増、伊10.9%増、スペイン27.5%増、蘭8.1%増、ポーランド1.7%増、 -収益:14年:純益:タイムラー2%増9,260億円、フィアット・クライスラー37%減、営業益:フィリップス64%減550億円</p>	<p>(前々月)・GDP7-9月ユーロ0.8%増、6四半期微増。失業率は高水準横這。自動車販売は回復傾向維持、消費は英独仏を中心にフランスも微増、輸出回復傾向、投資は停滞、生産は仏、伊、独、蘭が減少し微減へ。景気は消費、投資、生産が弱く伸び悩み。ECBは3月より量的金融緩和決定。企業業績は自動車、システムとも総じて好調。株価下落後67万台回復。 高水準の失業率の低下、景気回復が課題。ウクライナ問題、ギリシャ政局、景気下振れが懸念材料 (前・今月)・GDP10-12月ユーロ前期比0.3%増、7四半期微増。失業率は高水準横這。自動車販売は回復傾向、消費は英独仏を中心にやや回復、輸出回復傾向、投資は停滞、生産はスペイン、蘭が減少し微減。景気は消費やや回復も投資、生産が弱く伸び悩み。ECBは3月より量的金融緩和決定。企業業績は自動車斑模様、システム悪化。株価は対口制裁、ギリシャ問題もやや回復。高水準の失業率の低下、景気回復が課題。ウクライナ問題、ギリシャ政局、景気下振れが懸念材料</p>
中東ア	<p>-トルコ:11月:新車販売1.0%増8.4万台 -南ア:11月:新車販売0.9%増、5.1万台</p>	<p>-トルコ:20日政策金利2%引下げ15%へ、12月:新車販売13.5%増15.4万台、消費者物価8.2%増 -南ア:12月:新車販売10.7%増、5.1万台</p>	<p>-トルコ:1月:新車販売6.8%増3.7万台 -イメン:7日政権崩壊 -リビア:16日過激派激化 -南ア:1月:車販売1.2%減、</p>	<p>・シリア、イラク、リビア、イメン、ナイジェリア、南スーダン等で政情不安定。イラン、エジプト安定化傾向。サウジアラビア、UAE、クウェート、オマーンは安定成長。トルコ1%成長。南ア、物価高、金利引上げで1%成長。中東・アフリカ政治情勢の安定化、エボラ熱拡大阻止が課題</p>
中南米	<p>-ブラジル:3日政策金利0.5%引上11.75%へ、11月:新車販売2.7%減、消費者物価6.5%以上 -メキシコ:11月:新車販売11.2%増11.2万台</p>	<p>-ブラジル:21日政策金利0.75%引上12.25%へ、12月:新車販売4.6%増、37万台、 -メキシコ:12月:新車販売11.7%増13.3万台、2014年:自動車生産9.8%増322万台</p>	<p>-ブラジル:1月:新車販売18.8%減、25.4万台、 -メキシコ:1月:新車販売21.3%増10.4万台</p>	<p>・ブラジル経済は物価上昇、金融引締め、消費、生産低迷でマイナス成長。 メキシコ経済は車販売好調、輸出増等で2%台成長回復。経済回復が課題。</p>
露東欧	<p>-ロシア:12日1%、16日6.5%利上げ年17.0%へ、11月:新車販売1.1%減、22.9万台、11ヶ月連続一、</p>	<p>-ロシア:30日:政策金利2%引下15%へ、12月:新車販売2.4%増、27.0万台、1年ぶりプラス、10-12月:GDP:0.2%減</p>	<p>-ロシア:1月:新車販売24.4%減、11.5万台</p>	<p>・ロシアは対口制裁、原油下落・輸出減少、消費、投資、生産の低迷、通貨防衛の金利引上でGDPマイナス成長へ。対口経済制裁、原油下落の影響懸念、経済回復が課題。</p>